

2025年3月期 決算概要

2025年5月14日

テルモ株式会社

Chief Financial Officer

萩本 仁



おことわり

テルモの開示資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。様々な要因により、実際の業績等が変動する可能性があることをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、テルモの事業領域を取り巻く経済情勢、為替レートの変動、競争状況等があります。また、この資料に含まれている製品（開発中のものを含む）に関する情報は、宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。

セグメント名の変更

■ 心臓血管カンパニー 一部事業の名称変更

変更前	変更後	ビジネスブランド
TIS事業	インターベンショナルシステムズ事業	Terumo Interventional Systems
ニューロバスキュラー事業	ニューロ事業	Terumo Neuro
血管事業	アオルティック事業	Terumo Aortic

■ 血液・細胞テクノロジーカンパニー 開示セグメント変更

変更前	変更後
血液センター	グローバルブラッドソリューション (GBS)
アフレスिस治療他	グローバルセラピーイノベーション (GTI)
細胞処理	

ハイライト

■ FY24実績

- 売上収益として初の1兆円突破、北米が牽引し全社で+12%の伸長
- 営業利益は、242億円の一時的費用を計上するも、過去最高益を達成
- 当期利益、フリー・キャッシュ・フローにおいても過去最高

■ FY25業績予想

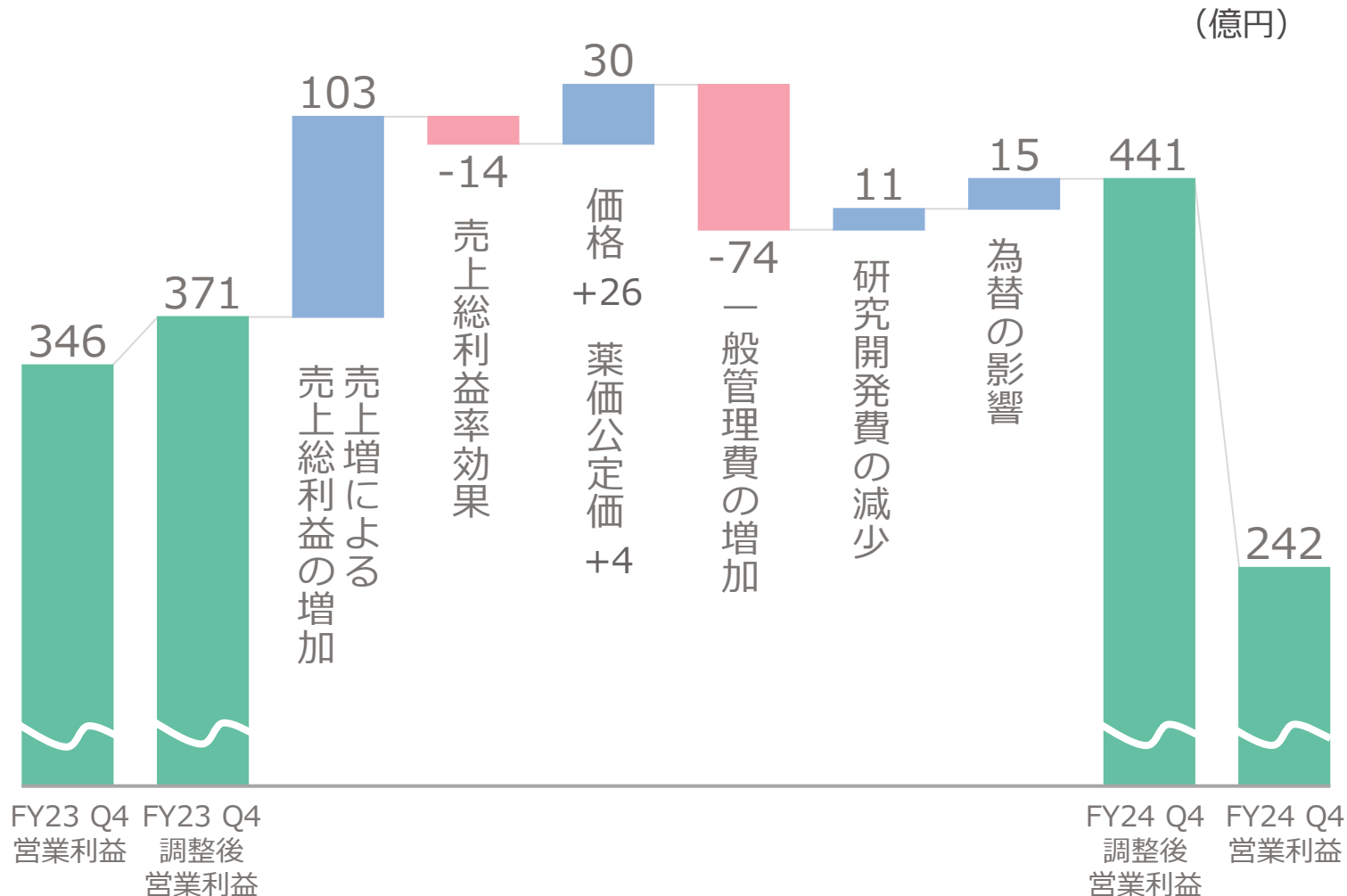
- グローバルで成長継続、売上収益は+7%伸長（為替影響除く）
- 事業拡大と一時費用の剥落により、営業利益は+32%伸長（為替影響除く）

P&L, FCF実績

- 売上収益：グローバルで需要が拡大。TISとグローバルブラッドソリューションが牽引
- 営業利益：一時費用を計上するも、売上増、価格政策、収益改善策の順調な進捗により増益

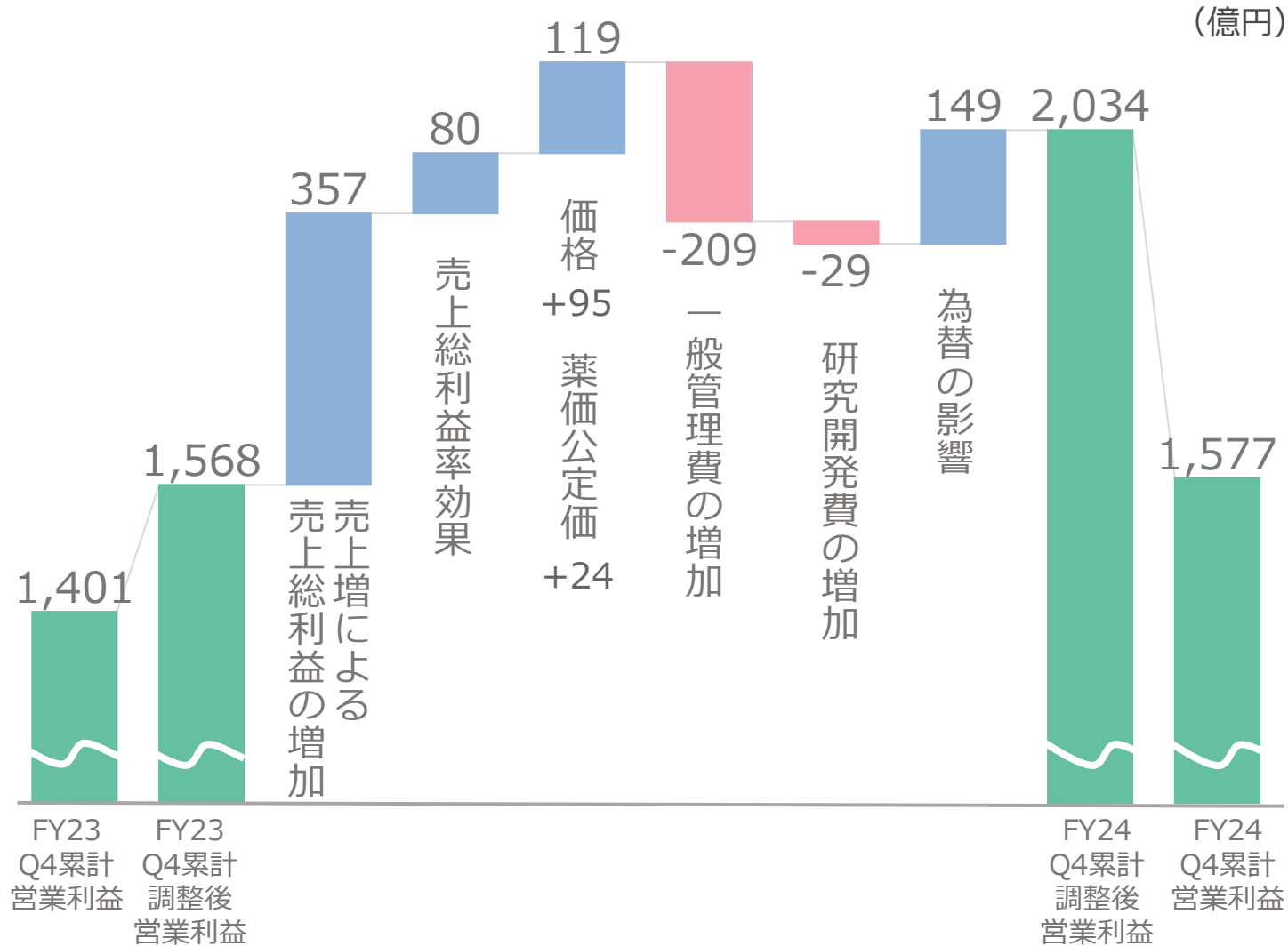
金額（億円）	FY23 Q4累計	FY24 Q4累計	増減率	為替除く増減率	FY23 Q4	FY24 Q4	増減率
売上収益	9,219	10,362	12%	9%	2,389	2,639	10%
売上総利益 (%)	4,792 (52.0%)	5,607 (54.1%)	17%	12%	1,243 (52.0%)	1,385 (52.5%)	11%
一般管理費 (%)	2,759 (29.9%)	3,074 (29.7%)	11%	8%	737 (30.9%)	818 (31.0%)	11%
研究開発費 (%)	691 (7.5%)	742 (7.2%)	7%	4%	199 (8.3%)	188 (7.1%)	-6%
その他収益費用	59	-214	-	-	39	-138	-
営業利益 (%)	1,401 (15.2%)	1,577 (15.2%)	13%	3%	346 (14.5%)	242 (9.2%)	-30%
調整後営業利益 (%)	1,568 (17.0%)	2,034 (19.6%)	30%	20%	371 (15.5%)	441 (16.7%)	19%
税引前利益 (%)	1,408 (15.3%)	1,546 (14.9%)	10%		351 (14.7%)	227 (8.6%)	-35%
当期利益 (%)	1,064 (11.5%)	1,170 (11.3%)	10%		265 (11.1%)	179 (6.8%)	-32%
フリー・キャッシュ・フロー	649	1,283	98%				
期中平均レート(USD/EUR)	145円/157円	153円/164円			149円/161円	153円/161円	

営業利益増減分析 (Q4) : 需要拡大の継続による売上増加が貢献



- 売上増による売上総利益の増加：
グローバルブラッドソリューションが牽引
- 売上総利益率効果：
新製品拡大へのシフトにより、旧製品の廃棄損や評価減を計上
- 価格：
中国VBPのマイナス影響を海外での価格政策効果で相殺、薬価改定もプラスに寄与
- 一般管理費の増加：
売上好調による賞与引当の増加、訴訟関連一時費用の計上
- 為替の影響：
フロー -5億円、ストック +20億円

営業利益増減分析 (Q4累計)：好調な売上と価格政策が貢献



- 売上増による売上総利益の増加：
グローバルブラッドソリューションとTISを中心とした心臓血管が牽引
- 売上総利益率効果：
インフレ影響の緩和と収益改善策の効果、前年度の一時費用は剥落
- 価格：
グローバルで価格政策を推進
- 一般管理費・研究開発費の増加：
事業拡大に伴う増加も、対売上比率は改善
- 為替の影響：
フロー +99億円、ストック +50億円

営業利益の調整項目内訳（Q4累計）

	(億円)	地域/事業	内容
減損損失 159	Q4 62	北米 TIS	大口径止血デバイス開発プロジェクト中止に係る資産の減損
	Q4 53	欧州 TIS	放射線放出ビーズ販売終息に係る資産の減損
	Q3 25	欧州 TBCT	製薬会社との新規受託製造プロジェクトの中止に伴う製造設備の減損
	Q4 19	中国 TIS	生産拠点の収益性悪化に係る減損
事業再編 61	Q2 45	欧州 TIS	生産拠点の最適化に伴う事業再編費用※減損15億含む
	Q3 16	グローバル TCV	事業ポートフォリオ見直しに伴う事業再編費用
その他 23	23		

調整項目合計* 242

*営業利益の調整項目のうち、買収無形資産の償却費を含まず **COF：キャッシュ・アウト・フロー

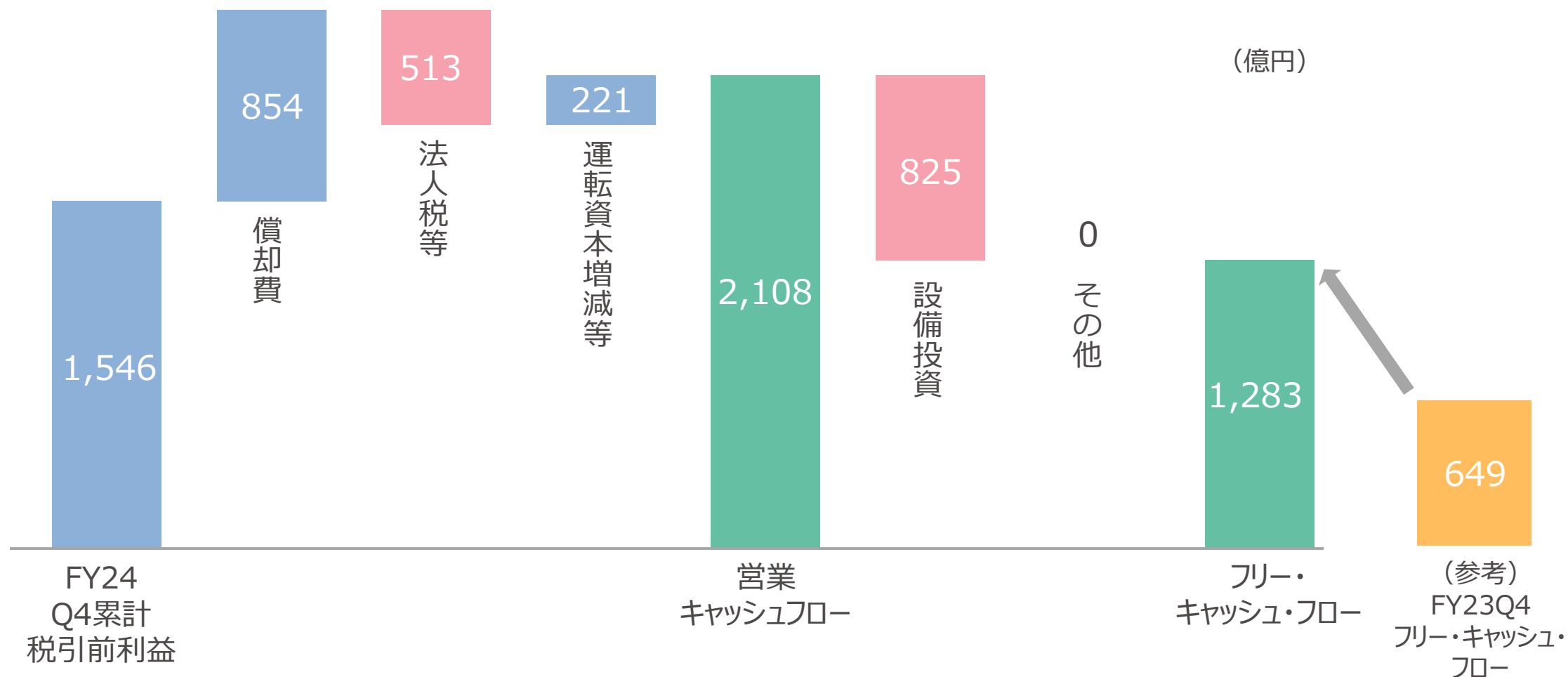
ポートフォリオ最適化

COF**
無

将来投資

COF**
有

フリー・キャッシュ・フロー実績：1,283億円（前年比 +635）



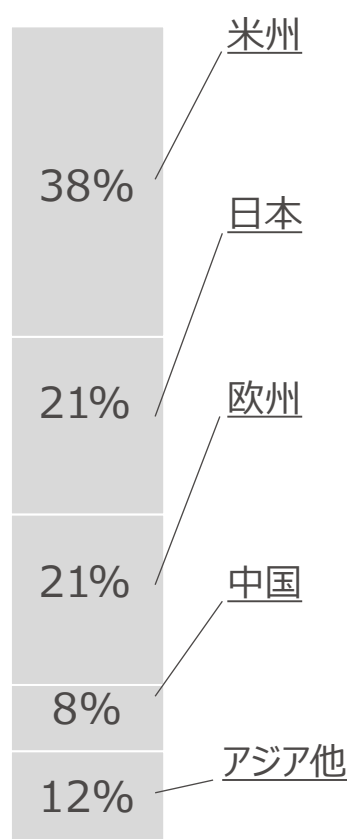
対前年比	+137	+87	-56	+476	+645	-41	+30	+635
------	------	-----	-----	------	------	-----	-----	------

設備投資は建設仮勘定計上ベース

地域別売上収益：米州・欧州が牽引し、グローバルで順調に進捗

(C&V: 心臓血管、TMCS: メディカルケアソリューションズ、TBCT: 血液・細胞テクノロジー
TIS: インターベンショナルシステムズ、TCV: カーディオバスキュラー、TA: アオルティック、HCS: ホスピタルケアソリューション、LCS: ライフケアソリューション、PS: ファーマシューティカルソリューション)

FY24 Q4累計
地域構成比



売上収益 (億円)		FY24 Q4累計 増減率	コメント
Q4累計	Q4	() 内は為替影響除く	
FY22 2,866	742	21% (16%)	全カンパニーが為替影響を除いても二桁伸長。C&VではTISとニューロが、TBCTではグローバルブラッドソリューションが牽引
FY23 3,280	898		
FY24 3,957	1,051		
2,074	503	3%	TMCSが牽引して伸長。HCSでは価格政策に加えて物量増加も貢献、PSでは期ずれの影響を受ける
2,111	524		
2,172	523		
1,600	414	14% (9%)	C&Vでは全事業で需要拡大が継続。TMCSではPSが、TBCTではグローバルブラッドソリューションが好調
1,915	525		
2,183	590		
719	153	7% (2%)	C&Vではニューロが大幅伸長で牽引。VBP影響によりアクセス製品の価格が下落するも、物量増加で跳ね返す
794	194		
850	185		
943	209	7% (4%)	FY23に好調であったグローバルブラッドソリューションは減収も、C&VではTISとニューロが牽引、TMCSではPSが大幅伸長し増収
1,118	249		
1,201	290		

C&V：北米が牽引しグローバルで売上・利益ともに大幅伸長

(C&V: 心臓血管)

(億円)

	Q4	Q4累計	コメント（累計）	Q4累計 売上増減
() 内は為替影響除く				
売上収益	1,217	4,806	TIS インターベンシ onalシステムズ	+418
	1,480	5,557	TN ニューロ	+140
	1,602	6,244	TCV カーディオ バスキュラー	+52
調整後 営業利益	286	1,122	TA アオルティック	+75
	319	1,239	利益	
	368	1,547		
利益率	23%	25%		

TMCS：一時的要因含む売上増と価格政策の効果で増収増益

(TMCS: メディカルケアソリューションズ)

(億円)

	Q4	Q4累計	コメント (累計)	Q4累計 売上増減
() 内は為替影響除く				
売上収益	462 FY22	503 FY23	515 FY24 2%	1,917 FY22
				1,976 FY23
				2,112 FY24 7% (6%)
			HCS ホスピタルケア ソリューション	: 日本では、価格効果に加えて、輸液 セット等の物量増加もあり増収。海外 は、北米での需要拡大により好調
			LCS ライフケア ソリューション	: CGM（持続血糖測定器）の販売 代理店契約の終了に伴う売上減少
調整後 営業利益	22 FY22	38 FY23	38 FY24 -1%	148 FY22
				198 FY23
				230 FY24 16% (18%)
			PS ファーマシューティカル ソリューション	: 日本におけるCDMO事業では期ずれ により減速するも、海外では欧米とアジ アのPLAJEXが好調
利益率	5%	8%	7%	利益
				: 価格政策の効果と販管費のコントロ ールにより増益

TBCT：血漿イノベーションの展開加速も寄与し増収増益

(TBCT: 血液・細胞テクノロジー)

(億円)

	Q4	Q4累計	コメント（累計）	Q4累計 売上増減
() 内は為替影響除く				
売上収益	342 405 521 29%	1,476 1,683 2,003 19% (15%)	GBS グローバル ブラッド ソリューション GTI グローバル セラピー イノベーション	+263 +57
調整後 営業利益	-18 25 67 164%	112 164 265 62% (49%)	利益	
利益率	-5% 6% 13%	8% 10% 13%		

FY25業績予想

- 売上収益：血液・細胞テクノロジーを中心に成長を継続し、+7%伸長（為替影響除く）
- 営業利益：高収益品の売上拡大と収益改善策の継続に加えて、一時費用も剥落し+32%（為替影響除く）

金額（億円）	FY24実績	FY25業績予想	増減率	為替除く増減率
売上収益	10,362	10,500	1%	7%
営業利益（営業利益率）	1,577（15.2%）	1,940（18.5%）	24%	32%
調整後営業利益（調整後営業利益率）	2,034（19.6%）	2,140（20.4%）	5%	12%
当期利益	1,170	1,430	22%	
ROIC	7.5%	8.8%		
ROE	8.7%	10.1%		

為替レート(USD/EUR)

153円/164円

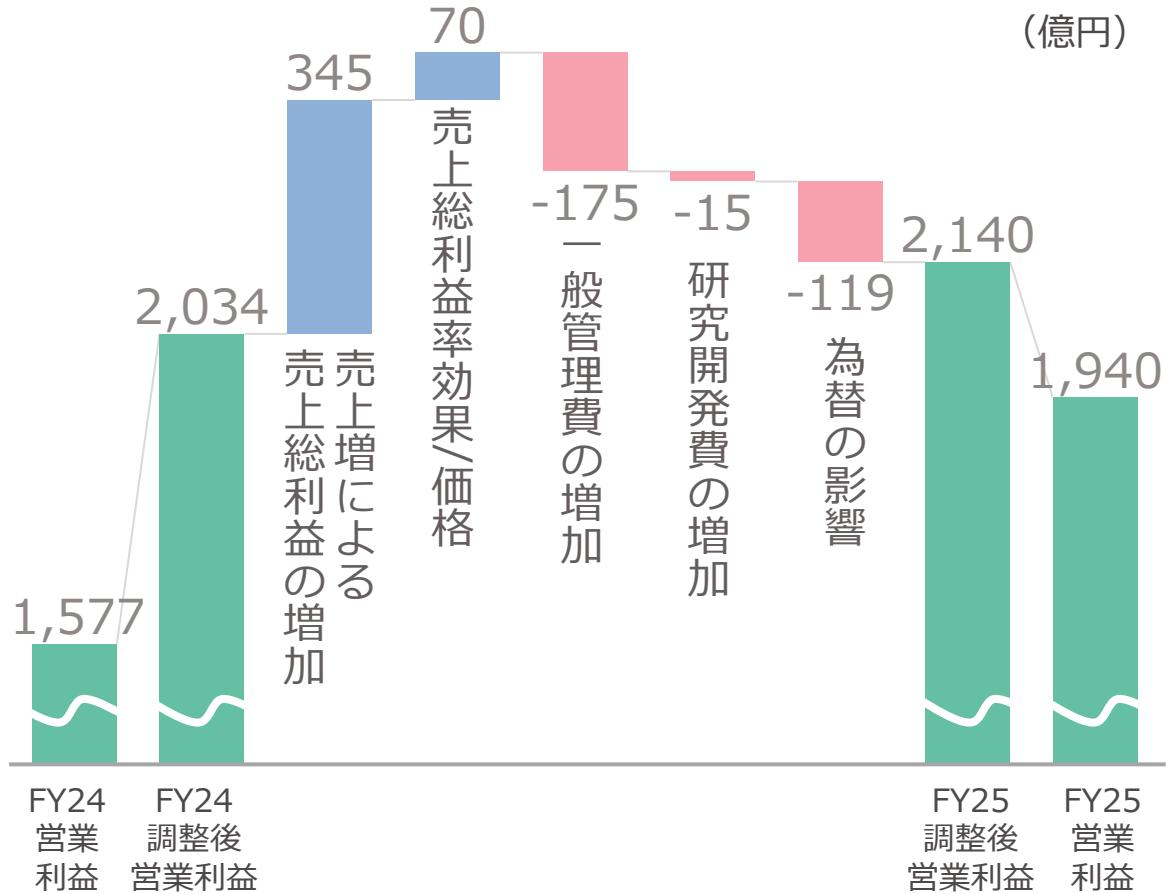
140円/160円

（ ）内は為替影響除く

FY25業績予想 カンパニー別（億円）	売上収益		調整後営業利益		調整後 営業利益率
	金額	増減率	金額	増減率	
C&V	6,180	-1%（6%）	1,570	1%（8%）	25%
TMCS	2,160	2%（4%）	280	22%（20%）	13%
TBCT	2,160	8%（15%）	300	13%（25%）	14%

（C&V：心臓血管、TMCS：メディカルケアソリューションズ、TBCT：血液・細胞テクノロジー）

FY25 業績予想 利益増減要因



売上増による売上総利益の増加：
血液・細胞テクノロジーを中心に成長を継続

売上総利益率効果・価格：

- 売上総利益率効果：収益改善策の継続も、インフレ悪化等が相殺（前年度の大幅改善は、インフレ緩和と一昨年の一時費用の剥落によるもの）
- 価格：国内外で価格政策の継続、中国VBPの影響を織り込む

一般管理費の増加：
事業拡大に伴う増加

関税の影響

■ 関税影響を受ける主な地域

- 北米売上：60%は米州内（コスタリカ、プエルトリコを含む）にて製造、米州外からの輸入は日本が最大
- 中国売上：5%未満が北米からの輸入

■ 関税影響とその前提

- 現在の条件*で関税施行の場合、FY25通期の調整後営業利益ベースで170億円のインパクト
- Q1は既存在庫があり影響は軽微、影響が出るのは主にQ2以降
- 状況が流動的であることから、FY25通期業績予想には織り込まず

*米国輸入：4月～6月 10%、7月以降の日本からの輸出 24%、
対中輸出：5/14時点 10%、90日後 145%

■ 対策

- 価格転嫁により影響を緩和することを想定
- 政策動向がいまだ不透明、今後も動向を注視し迅速に対応

重点施策に沿った今後の製品・地域展開

●重点施策

C&V

- 市場規模のあるセグメントで成長、治療領域の拡大
- 疾病横断でラディアル手技の普及

TMCS

- 周術期ソリューションの拡充
- 地域別ニーズに即した海外展開

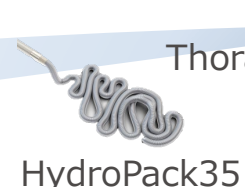
TBCT

- 全血採血による血液自動製剤システムのグローバル展開
- ソフト/サービスによる差別化の実現

●製品・地域展開

FY25

FY26～



周術期ソリューション



地域展開



血液自動製剤システム

「Reveos」

- FY24：北米上市成功
- FY25：グローバル展開加速



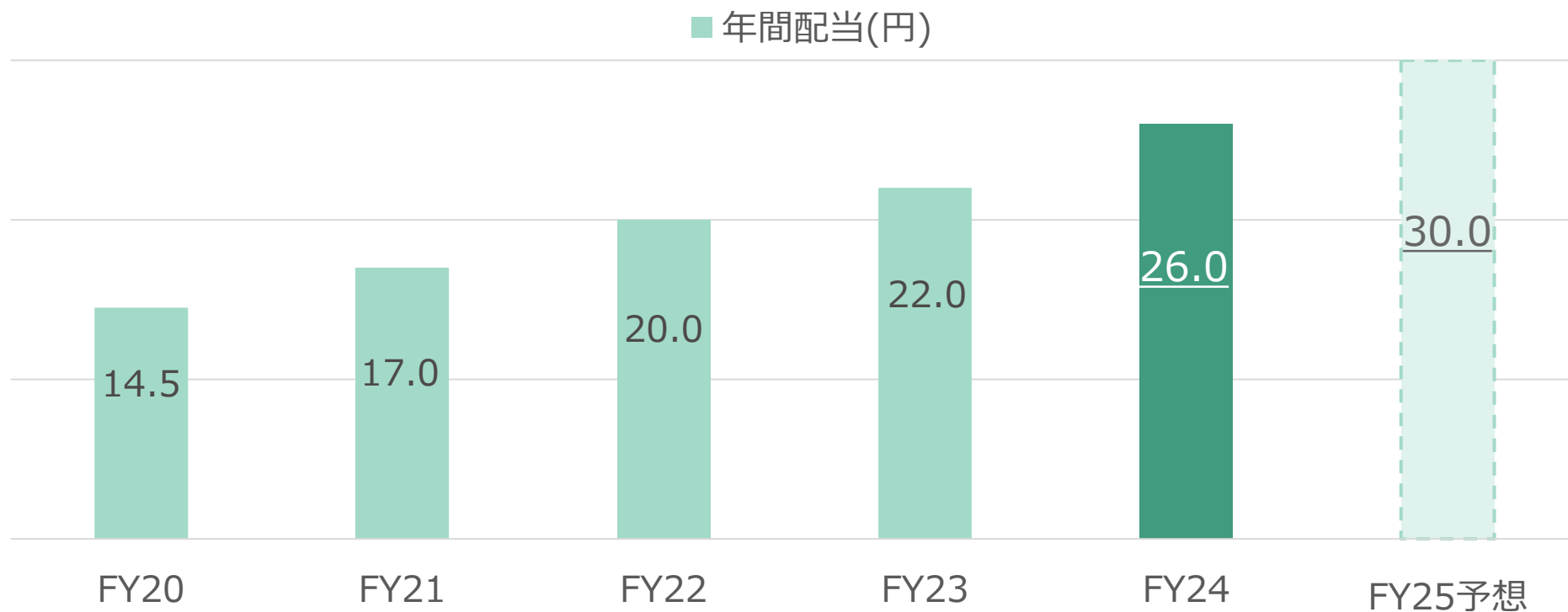
ソフトウェア/サービス

- TOMEs (ソフト)
- Veda Solutions (サービス)
- Lumia (ソフト)
- Kinari (ソフト)
- Myata (サービス)

差別化
顧客体験の向上

配当案：還元方針に基づき増配継続

■ 還元方針：安定増配を継続、総還元性向50%を目標



FY20～FY23の一株当たり配当額は2024年4月1日の発行済み株式数に合わせて補正

配当性向	28%	29%	34%	31%	33%	31%
総還元性向	28%	29%	90%	41%	59%	

参考資料

P&L（四半期推移）

（億円）

		FY23 Q4 (1-3月)	FY24 Q1 (4-6月)	Q2 (7-9月)	Q3 (10-12月)	Q4 (1-3月)
売上収益		2,389	2,582	2,505	2,636	2,639
売上総利益		1,243 (52.0%)	1,376 (53.3%)	1,395 (55.7%)	1,451 (55.1%)	1,385 (52.5%)
一般管理費		737 (30.9%)	748 (29.0%)	732 (29.2%)	777 (29.5%)	818 (31.0%)
研究開発費		199 (8.3%)	174 (6.7%)	194 (7.7%)	187 (7.1%)	188 (7.1%)
その他収益費用		39	-8	-38	-30	-138
営業利益		346 (14.5%)	446 (17.3%)	431 (17.2%)	458 (17.4%)	242 (9.2%)
調整後営業利益		371 (15.5%)	511 (19.8%)	529 (21.1%)	553 (21.0%)	441 (16.7%)
四半期 平均レート	USD	149円	156円	149円	152円	153円
	EUR	161円	168円	164円	163円	161円

販管費（四半期推移）

（億円）

		FY23 Q4 (1-3月)	FY24 Q1 (4-6月)	Q2 (7-9月)	Q3 (10-12月)	Q4 (1-3月)
人件費		373	398	384	406	430
販促費		54	52	47	54	60
物流費		51	51	59	56	57
償却費		66	70	68	70	71
その他		192	178	175	190	200
一般管理費 (売上比率)		737 (30.9%)	748 (29.0%)	732 (29.2%)	777 (29.5%)	818 (31.0%)
研究開発費 (売上比率)		199 (8.3%)	174 (6.7%)	194 (7.7%)	187 (7.1%)	188 (7.1%)
合計 (売上比率)		937 (39.2%)	922 (35.7%)	926 (37.0%)	963 (36.6%)	1,006 (38.1%)
四半期 平均レート	USD	149円	156円	149円	152円	153円
	EUR	161円	168円	164円	163円	161円

販管費（前年同期比）

（億円）

	FY23 Q4累計	FY24 Q4累計	増減	増減率	為替除く 増減率	FY23 Q4	FY24 Q4	増減	増減率
人件費	1,429	1,618	188	13%	9%	373	430	57	15%
販促費	201	213	11	6%	2%	54	60	5	9%
物流費	193	223	30	15%	12%	51	57	6	12%
償却費	250	279	29	12%	7%	66	71	5	8%
その他	685	742	57	8%	5%	192	200	7	4%
一般管理費	2,759	3,074	315	11%	8%	737	818	80	11%
（売上比率）	(29.9%)	(29.7%)				(30.9%)	(31.0%)		
研究開発費	691	742	52	7%	4%	199	188	-11	-6%
（売上比率）	(7.5%)	(7.2%)				(8.3%)	(7.1%)		
合計	3,450	3,816	367	11%	7%	937	1,006	69	7%
（売上比率）	(37.4%)	(36.8%)				(39.2%)	(38.1%)		

調整後営業利益：調整額

(億円)

	FY23 Q4累計	FY24 Q4累計	FY23 Q4	FY24 Q4
調整後営業利益	1,568	2,034	371	441
調整① 買収無形資産の償却費	-200	-215	-54	-54
調整② 一時的な損益	33	-242	29	-146
営業利益	1,401	1,577	346	242

※ 調整項目に含まれる費用・収益の例

- 買収関連費用
- 訴訟関連損益
- 減損損失
- 事業再編費用
- 損害保険収入
- 災害による損失
- その他一時的な損益

調整②「一時的な損益」の内訳	FY23 Q4累計	FY24 Q4累計
事業再編費用	-23	-75
オリンパステルモバイオマテリアル株式売却益	13	-
訴訟関連損益	34	-
減損損失	-	-179
TBCT土地売却益	-	14
その他	10	-2

設備投資、償却費、研究開発費

(億円)

	FY21	FY22	FY23	FY24	FY25予想
設備投資	692	758	784	825	950
償却費	532	635	702	781	830
買収無形償却費	161	188	200	210	200
その他	371	447	502	571	630

設備投資は、建設仮勘定計上ベース・リース含まず、償却費はリース償却（IFRS16）含まず

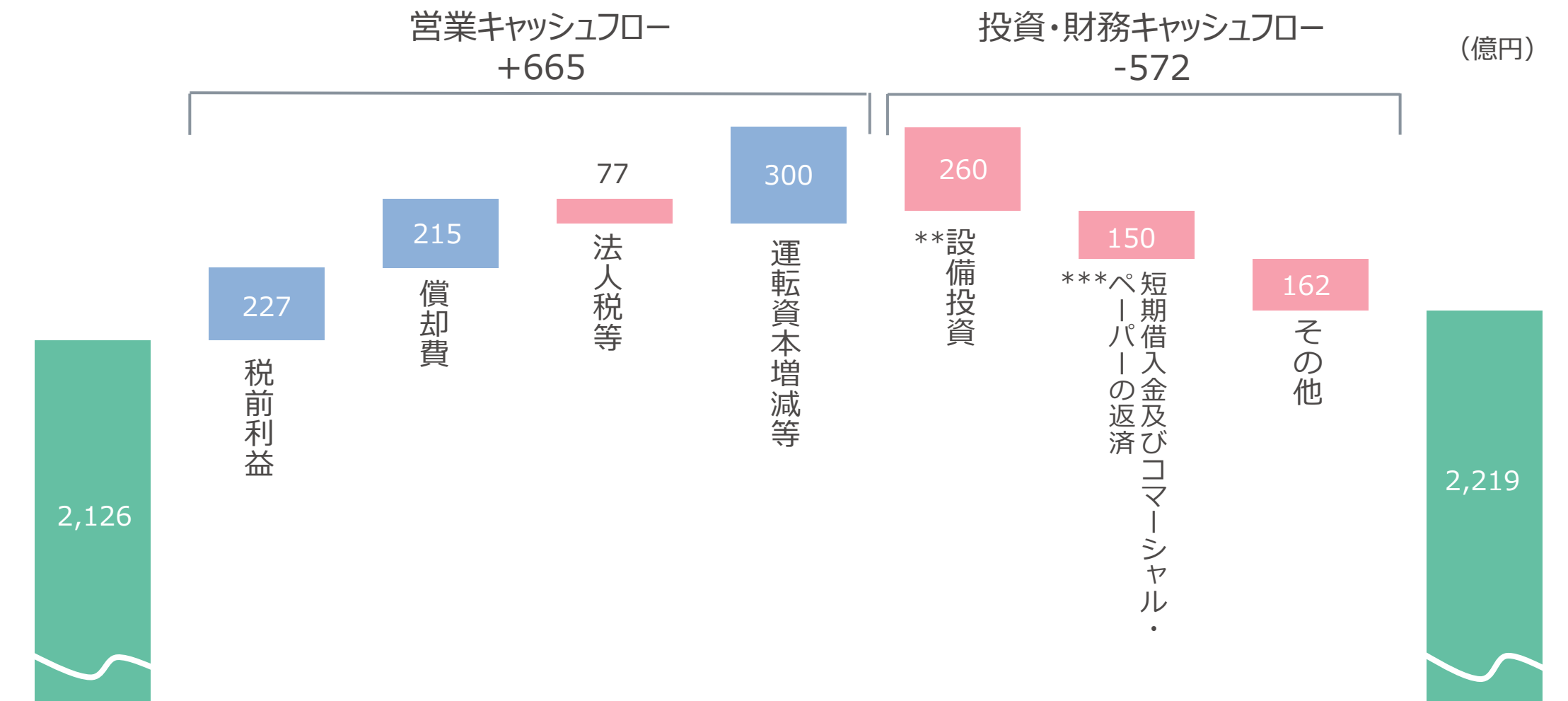
■ FY24設備投資（825億円）

CDMO(開発製造受託)等生産体制強化のため甲府工場内の新棟建設他、TISおよび血液・細胞テクノロジーの増産設備、原料血漿採取関連、R&D投資、基幹システム（SAP）等のIT投資を継続

■ FY25設備投資（950億円） 上記案件を含めた生産能力の増強、新たな成長に向けた投資を予定

	FY21	FY22	FY23	FY24	FY25予想
研究開発費	518	616	691	742	715

キャッシュフロー（Q4）



* FY24Q3末
現預金残高

* 期末現預金残高はB/Sの「現金及び現金同等物」と整合
 ** 建設仮勘定計上ベース
 *** 純額表示

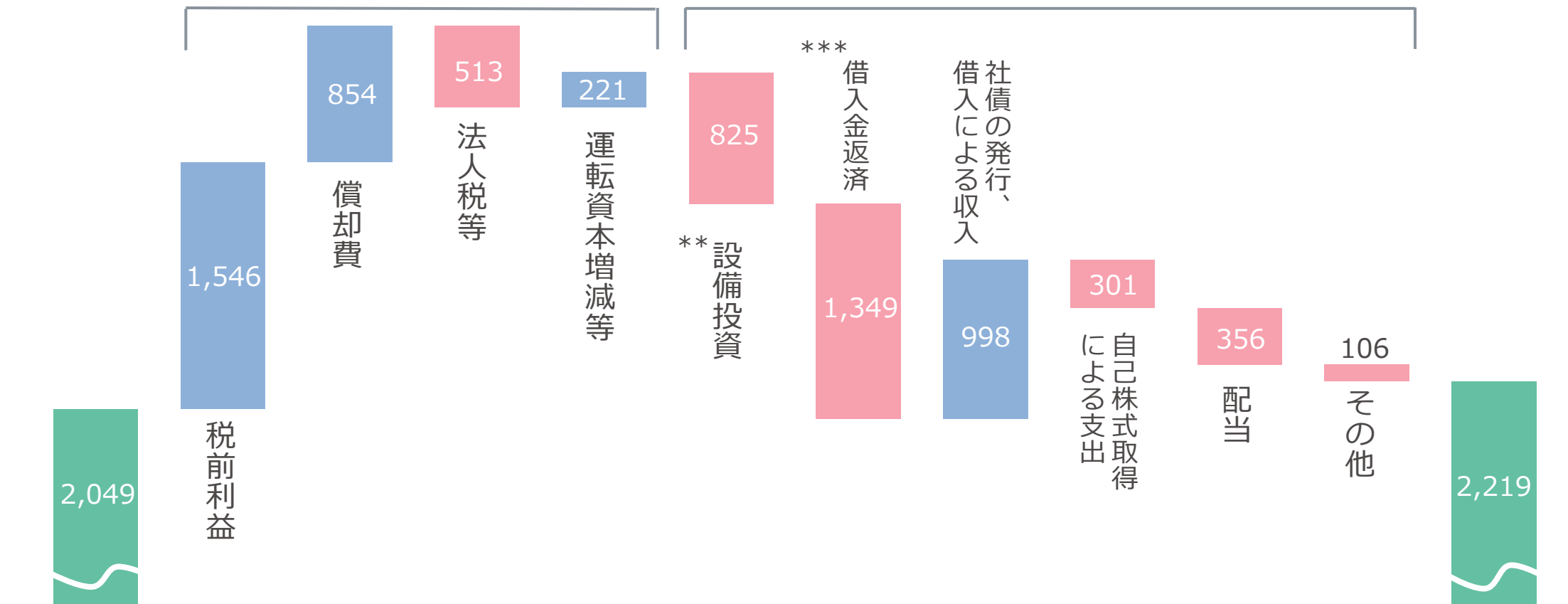
FY24末
現預金残高

キャッシュフロー（Q4累計）

営業キャッシュフロー
+2,108

投資・財務キャッシュフロー
-1,938

(億円)



* FY23末
現預金残高

* 期末現預金残高はB/Sの「現金及び現金同等物」と整合
 ** 建設仮勘定計上ベース
 *** デリバティブ決済考慮後

FY24末
現預金残高

為替感応度

1円の円安に対しての年間影響額（フロー）

（億円）

	USD	EUR	中国元
売上収益	25	11	39
調整後営業利益	1	5	23

1円の円安に対しての影響額（ストック）

	USD	EUR	中国元
調整後営業利益	-2.5	-0.6	-2.0

